



【寒波到来による注意喚起】給湯器・水道管凍結について

現在普及している給湯器の多くは、内部に配管を温めるためのヒーターが装備され「凍結対策」がなされています。そのため給湯器本体での凍結トラブルは少なく、本体の外に接続されている水道配管や給湯配管で起こることがほとんどです。以下の通り、予防・対処法についてお知らせいたします。

■給湯器で凍結しやすい箇所

①給水配管

最も凍結が多い配管です。給水配管は外気温の影響を受けやすく、水温が下がりやすいため凍結がしやすいです。

②本体と配管の接続部

接続している部分はほとんどが金属製のため、凍結することがあります。

③給湯配管

こちらも凍結することがあります。ただし、水道水より水温が高いお湯が通る配管なので、配管の中では比較的凍結はしにくいです。

④追炊き配管

残り湯が排水された状態の場合、自動で水を循環させる凍結防止機能が作動しないことで凍結が起きます。

■凍結防止対策

(必ず確認してください)

・給湯器本体、配管用凍結防止ヒーターの電源プラグがそれぞれコンセントにしっかりと差し込まれているか確認する。

1. 追い焚き機能付きのお客様:自動ポンプ運転を活用する

・浴槽の残り湯を循環金具(浴槽内のお湯が出る箇所)より5cm以上、上にある状態にしておく。

※ただし、経年劣化等により給湯器内の凍結防止ヒーターが故障していないことが条件です。

2. 給湯専用機のお客様:蛇口(お湯側)から水を細く出しておく

1)ガスの使用を抑えるため、給湯器のリモコンの運転ボタンをオフにする、もしくは給湯器のガス栓を閉める。

どうか、素晴らしい今日を。

2)通水する

・温度調整付きの水栓の場合:給湯配管のみに通水するため、サーモスタットで最高温度(※)の位置に設定する。 ※使用時の設定温度にご注意ください。

・温度調整なしの水栓(水・お湯でハンドルが分かれている)の場合:お湯側のみ通水する。

3.配管周りに配管用凍結防止ヒーターや断熱材(保温材)を設置する

・給湯器の配管周りは外気温の影響を受けやすいため、特に凍結しやすい部分は断熱材(保温材)などで保護する。ただし、専門業者等への依頼をおすすめします。

緊急時のお問い合わせ先

福島支店	電話:024-981-1710
山形支店	電話:023-643-7911
宮城支店	電話:022-232-1816
宮城支店古川事務所	電話:0229-28-2346
岩手支店	電話:019-684-1234
岩手支店菓子営業所	電話:019-688-4466
岩手支店佐藤事務所	電話:019-636-3942
岩手支店小原事務所	電話:019-647-2345
青森支店	電話:0178-44-8581
弘前支店	電話:0172-34-3377
弘前第一営業所	電話:0172-40-3253
弘前第二営業所	電話:017-742-2870
深浦営業所	電話:0173-74-2232